

持続可能な文化の未来

‘文化のデジタル化’ | ケーススタディ 2

著作権と生成AI

2024年9月

ジョセファ・ベルトリニ(キングス・カレッジ・ロンドン), ヘギョン・リー(キングス・カレッジロンドン), 照井敬生(西安交通リヴァプール大学、蘇州) 河島伸子(同志社大学、京都)



持続可能な文化の未来プロジェクトについて

キングス・カレッジ・ロンドン（英国）と同志社大学（日本）によって主導される「持続可能な文化の未来：COVID-19と文化政策のリセット（SCF）」は、中長期的な視点でパンデミック前の前提を再考し、文化政策研究の新たなフロンティアを探求し、芸術と文化のより持続可能な未来を築くことを目指しています。このため、以下の3つのテーマに焦点を当てています：1) 文化の価値と公共参加、2) 文化労働、および3) 文化のデジタル化。英国における研究活動は、経済社会研究カウンシルの国際協力基金の支援を受けています【助成番号：ES/W011891/1】。日本における研究は日本学術振興会によって資金提供されています【助成番号：JPJSJRP 20211707】。

本報告書は第三のテーマについての二本目の成果である。一本目のレポートは以下のリンクを参照。

[英語版](#) [日本語版](#)



JSPS

目次

1. 導入	3
2. 湧き上がる懸念	4
2.1. 既存の創作物のコピー	
2.2. 将来の市場への影響	
2.3. 人間の知識と創作表現に対する独占的な蓄積	
2.4. 文化的創作のデータ生成への還元	
3. 国際的観点	7
3.1. 日本	
3.2. イギリス	
3.3. シンガポール	
3.4. オーストラリア	
3.5. カナダ	
4. AIと著作権の調停	11
4.1. 4つのC：同意(consent)、制御(control)、記載(credit)、補填(compensation)	
4.2. ライセンス合意とその先	
4.3. オープンアクセス文化への批判的関与	
4.4. より広範な生態系	
5. 付録	15
付録 1. 生成AI関連の訴訟事例	
付録 2. 生成AIのライセンス合意事例	

著作権と生成AI

ジョセファ・ベルトリーニ(キングス・カレッジ・ロンドン), ヘギョン・リー(キングス・カレッジロンドン), 照井敬生(西安交通リヴァプール大学、蘇州) 河島伸子(同志社大学、京都) [1]

1. 導入

生成AIの開発には、人間の知識や創造的表現の膨大なデータセットが必要です。また、データの質も重要な要素であるため、著作権がある資料はAIのデータマイニングや学習にとって魅力的な対象となっています。[2][3] 世界的に技術を主導するOpenAIも認めているように、「今日の主要なAIモデルを訓練するには、著作権のある資料を使用せずに行うことは不可能です」。[4] 現在の生成AIモデルは、入力（データマイニングと訓練）と出力（生成されたテキスト、画像、音楽、動画）の両方において、著作権のダイナミクスを混乱させています。[5] [6] [7]さらに、この混乱は「創造的な不安定性」という文脈で広く考察することができます。[8] これは、文化労働者の創造的役割、権利、アイデンティティ、そして彼らの創造性や労働に対する鑑賞者の認識に関して増大する不確実性を指します。この結果、アーティストや文化産業のリーダーたちは様々な懸念を抱き、時には元の作品のデータマイニングを創造的な「盗難」とも喩えています。[9] [10]

[1] ジョセファ・ベルトリーニ（研究アシスタント）は、英語の情報源を調査し、本報告書の草稿を用意した。概念枠組みと主要な議論を提供したプロジェクトリーダーであるヘギョン・リーがその指導を行った。プロジェクトの参与者である照井敬生は日本におけるAIの議論を研究し、日本のプロジェクトリーダーである河島伸子は報告書の全体的なテーマについて助言しました。

[2] McKinsey & Company (2024) 'What is generative AI?', McKinsey & Company, 2 Apr. Available at: <https://www.mckinsey.com/featured-insights/mckinsey-explainers/what-is-generative-ai> [Accessed 16 May 2024].

[3] Budach, L., Feuerpfeil, M., Ihde, N., Nathansen, A., Noack, N., Patzlaff, H., Naumann, F. and Harmouch, H. (2022) The Effects of Data Quality on Machine Learning Performance. Available at: <https://arxiv.org/abs/2207.14529> [Accessed 16 May 2024].

[4] OpenAI, quoted in Popular Science (2024) 'OpenAI argues it is 'impossible' to train ChatGPT without copyrighted work', Popular Science, 8 Jan. Available at: <https://www.popsoci.com/technology/openai-copyright-fair-use/> [Accessed 14 May 2024].

[5] Henderson, P., Li, X., Jurafsky, D., Hashimoto, T., Lemley, M.A. and Liang, P. (2023) Foundation Models and Fair Use. Stanford Law and Economics Olin Working Paper No. 584. Available at: <https://dx.doi.org/10.2139/ssrn.4404340> [Accessed 4 Jul. 2024].

[6] Guadamuz, A. (2024) A Scanner Darkly: Copyright Liability and Exceptions in Artificial Intelligence Inputs and Outputs, GRUR International, Volume 73, Issue 2, February 2024, Pages 111–127, <https://doi.org/10.1093/grurint/ikad140> [Accessed 1 Aug. 2024].

[7] Pasquale, F. and Sun, H. (2024) Consent and Compensation: Resolving Generative AI's Copyright Crisis. Cornell Legal Studies Research Paper Forthcoming, University of Hong Kong Faculty of Law Research Paper No. 2024/07. Available at SSRN: <https://ssrn.com/abstract=4826695> [Accessed 5 Aug. 2024].

[8] Lee, H.-K. (2024) Reflecting on cultural labour in the time of AI. Media, Culture & Society. <https://journals.sagepub.com/doi/full/10.1177/01634437241254320> [Accessed 19 May 2024].

[9] The Economist (2024) 'Generative AI is a marvel. Is it also built on theft?' The Economist, 14 Apr. Available at: <https://www.economist.com/business/2024/04/14/generative-ai-is-a-marvel-is-it-also-built-on-theft> [Accessed 14 Jun. 2024].

[10] All-Party Parliamentary Group on Music and UK Music (2024) Artificial Intelligence and the Music Industry - Master or Servant? Available at: <https://www.ukmusic.org/wp-content/uploads/2024/04/APPG-AI-Report-Low-res.pdf> [Accessed 14 Jun. 2024].

一部の論者は、データマイニングを既存の文化的表現にインスパイアされたアーティストの活動に喩えています。その声は現在のAI著作権論争の中ではまだ十分な支持を得ていません。そのため、生成的AIの導入は著作権の状況を動揺させ、テック企業に対する法的措置が増加しています。[11]

この新たな、動揺した状況の影響をよりよく理解するために、アーティストや文化企業がAI企業に対して提起した著作権侵害の主張について主要な側面を検討し、5つの異なる国における政策対応を見直し、最後に生成的AIが著作権の枠組み内でどのように調整されるかを考察します。

2. 湧き上がる懸念

現在進行中の裁判や議論に基づいて、AIによる著作権作品のデータマイニングおよび生成出力に関して、次の4つの問題点を特定することができます（付録1も参照）。

2.1. 既存の創作物のコピー

増加する生成AI関連の訴訟からも明らかのように、[12]アーティストや文化企業は、自分たちのオリジナル作品が同意なしに、またクレジットや報酬もないままデータマイニングされること、さらにAIがそれらオリジナル作品に似た出力を生成するという、二重の著作権の脅威を懸念しています。まず、私たちが調査した生成AI関連の訴訟の中で一貫している主張の一つは、原告のオリジナル作品を使用してモデルを訓練したテック企業による著作権侵害です。[13] [14] [15] [16] [17] [18]

[11] Creative Commons (2023) Open Letter: Artists Using Generative AI Demand Seat at Table from US Congress. Available at: <https://creativecommons.org/about/policy-advocacy-copyright-reform/open-letter-artists-%20using-generative-ai-demand-seat-at-table-from-us-congress/> [Accessed 14 Jun. 2024].

[12] There are currently estimated to be about 20 such lawsuits. Aplin, T. (2024) Steering through technological and market disruption: the copyright perspective on Generative AI. Sustainable Cultural Futures International Workshop on Digitalisation of Culture. King's College London, 6 Jun., London.

[13] Getty Images vs Stability AI (2023) Case 1:99-mc-09999. Available at: <https://aboutblaw.com/6DW> [Accessed 16 May 2024], pp 23-34.

[14] Andersen, McKernan, Ortiz, Southworth, Rutkowski, Manchess, Brom, Zhang, Kaye, and Ellis, vs Stability AI, Midjourney, Runway & DeviantArt (2023) Case 3:23-cv-00201-WHO. Available at: <https://fingfx.thomsonreuters.com/gfx/legaldocs/znpnzrgypl/AI%20COPYRIGHT%20LAWSUIT%20amended.pdf> [Accessed 16 May 2024], pp 8-10.

[15] Authors Guilds vs Open AI (2023) Case 1:23-cv-08292 Available at: <https://fingfx.thomsonreuters.com/gfx/legaldocs/xmvjlbqbnvr/AUTHORS%20GUILD%20OPENAI%20LAWSUIT.pdf> [Accessed 16 May 2024], pp 44-46.

[16] Concord Music Group vs Anthropic (2023) Case 3:23-cv-01092. Available at: <https://regmedia.co.uk/2023/10/20/anthropic-lyrics-complaint.pdf> [Accessed 16 May 2024], pp 49-57.

[17] New York Times vs Open AI (2023) Case 1:23-cv-1119. Available at: https://nytimes-assets.nytimes.com/2023/12/NYT_Complaint_Dec2023.pdf [Accessed 16 May 2024], pp 60-67.

[18] Universal Music Group vs Suno (2024) Case 1:24-cv-11611. Available at: <https://storage.courtlistener.com/recap/gov.uscourts.mad.272063/gov.uscourts.mad.272063.1.0.pdf> [Accessed 7 Aug. 2024].

現在、AI企業はこのようなデータマイニングがフェアユースの範囲内で行われていると主張しています。[19] [20] しかし、著作権が例外として認められるフェアユースやフェアディールングの伝統的な範囲を超えて、使用される著作物の量や速度ははるかに広範です。第二に、いくつかの生成された出力が、モデルを構築するために使用されたオリジナル作品と「実質的に類似している」という主張もあります。[21] このため、複数の訴訟では、AIモデルが生成された出力を通じて原告の創造作品を模倣またはほぼ複製する能力を証明しようとしています。結果として、コメント提供者や利害関係者は、このような出力が生成モデルの訓練に使用された著作物の派生作品として扱われ、潜在的な著作権侵害となるのか、それとも元の作品を変容させた形での使用と見なされ、フェアユースの名の下に著作権から免除されるのかを議論しています。[22]

AIの入力（データマイニングと訓練）や出力（生成作品）が著作権侵害にあたるかどうかは、法的、技術的、そして芸術的に複雑な問題ですが、アーティストや企業が著作権作品に対するコントロールの喪失に対してますます不安を抱いていることは明らかです。[23] [24] [25] [26] [27]

2.2. 将来の市場への影響

現在の訴訟では、AIによる生成物がより広範な文化市場に与える潜在的な影響についても懸念されています。たとえば、「最も重要な要素は、その使用が著作物の潜在的な市場や価値に与える影響である」と指摘されています。[28]

[19] The Economist (2024) 'AI firms will soon exhaust most of the internet's data' The Economist, 23 Jul. Available at: <https://www.economist.com/schools-brief/2024/07/23/ai-firms-will-soon-exhaust-most-of-the-internets-data> [Accessed 31 Jul. 2024].

[20] Wolfson, S. (2023) 'Fair Use: Training Generative AI', Creative Commons, 17 Feb. Available at: <https://creativecommons.org/2023/02/17/fair-use-training-generative-ai/> [Accessed 16 May 2024].

[21] Andersen et al. vs Stability AI et al. (2023).

[22] See Andersen et al. vs Stability AI et al. (2023); Concord Music Group vs Anthropic (2023); New York Times vs Open AI (2023).

[23] In the 90s, "transformativeness" was added by the US Supreme Court to fair use understanding: "If someone can show that their secondary use transforms the original in some way, it is much more likely to be fair use than otherwise." (Wolfson, 2023).

[24] Schick, N. and Ajder, H. (2023) 'AI on trial: Can everything generated by AI be subject to copyright?', The Era of Generative AI, 23 Jan. Available at: <https://ninaschick.substack.com/p/ai-on-trial-caneverything-generated> [Accessed 28 Jun. 2023].

[25] Appel, G., Neelbaur, J. and Schweidel, D.A. (2023) 'Generative AI Has an Intellectual Property Problem', Harvard Business Review, 7 Apr. Available at: <https://hbr.org/2023/04/generative-ai-has-an-intellectual-property-problem> [Accessed 7 Aug. 2024].

[26] Helms, S. and Krieser, J. of McDermott, Will and Emery (2023) 'Copyright Chaos: Legal Implications of Generative AI', Bloomberg Law, 23 Mar. Available at: <https://www.bloomberglaw.com/external/document/XDDQ1PNK000000/copyrights-professional-perspective-copyright-chaos-legal-implic> [Accessed 1 Aug. 2024].

[27] Wolfson (2023).

[28] Carey, T. of Sunstein LLP (2024) 'The New York Times v. OpenAI: The Biggest IP Case Ever', JD Supra, 11 Jan. Available at: <https://www.jdsupra.com/legalnews/the-new-york-times-v-openai-the-biggest-5149037/> [Accessed 16 May 2024].

AIの出力がAI訓練に使用された既存の著作物と競合する可能性や、それらの市場を取って代わる可能性は、現在進行中の議論をさらに複雑にしています。[29] このような出力は、文化的生産者にとって、不公平な競争を生み出していると主張されています。つまり、自分たちの作品で訓練された自動生成されたバージョンと競争しなければならないという状況です。[30] 生成AIモデルはアクセスしやすく、特に生産性が高いため、その出力は人間ベースのサービスにかかる時間や費用の代わりとして魅力的な選択肢を提供する可能性があるという示唆されています。[31]

2.3. 人間の知識と創作表現に対する独占的な蓄積

より一般的な観点では、グローバルなテック企業が膨大な規模で人間の知識や創造的表現を蓄積していることにも注目すべきです。訓練と処理には非常に多くのデータが必要であり、費用もかかるため、[32] [33] 「ChatGPT」に使用される大規模言語モデルのような「基盤モデル」を訓練できた企業はごく少数です。[34] [35] これは、広範囲にわたる人間の知識と創造を少数の企業がほぼ独占する可能性を生み出し、それらの企業が投資を活かして利益を得ようとしている状況を反映しています。このダイナミクスの中で、米国連邦取引委員会（FTC）が「急速に進展するチャットボットやその他の生成AI製品の業界における独占的行動」に対する懸念が高まる中、調査を開始しました。[36] さらに、この状況は、これまで人間のアーティストやクリエイターに「具現化」されていた人間の創造性、知識、スキルが、今やその労働から切り離され、テック企業の資産のように機能する可能性があるという、創造的不安定性の背景に照らしてより広範に文脈化することができます。[37]

[29] Henderson et al. (2023).

[30] New York Times vs Open AI (2023), pp 65-66.

[31] Downing, quoted in Observer (2023) 'Will A.I. Replace Artists? Some Art Insiders Think So', Observer, 21 Jun. Available at: <https://observer.com/2023/06/will-a-i-replace-artists-some-art-insiders-think-so/> [Accessed 18 Apr. 2024].

[32] McKinsey & Company (2024).

[33] The Atlantic, (2024) 'Silicon Valley's Trillion-dollar Leap of Faith', The Atlantic, 29 Jun. Available at: <https://www.theatlantic.com/technology/archive/2024/07/ai-companies-unprofitable/679278/> [Accessed 5 Aug. 2024].

[34] "Foundation models are machine learning models trained on broad data (typically scraped from the internet) generally using self-supervision at scale (Bommasani et al., 2021). Most foundation models are not trained to accomplish specific tasks but rather to capture useful general information in the data...These models can then be tuned to align more with human preferences (Ouyang et al., 2022) or be adapted for specific tasks. Foundation models can be used for generating content." Cited by Henderson et al. (2023), p 3.

[35] Toner, H. (2023) What are Generative AI, Large Language Models, and Foundation Models? Center for Security & Emerging Technology, Georgetown University. Available at: <https://cset.georgetown.edu/article/what-are-generative-ai-large-language-models-and-foundation-models/> [Accessed 27 Aug. 2024].

[36] Associated Press (2024) 'US antitrust enforcers will investigate leading AI companies Microsoft, Nvidia and OpenAI', AP News, 6 Jun. Available at: <https://apnews.com/article/nvidia-openai-microsoft-ai-antitrust-investigation-ftc-doj-0adc9a4a30d4b581a4f07894473ba548> [Accessed 17 Jun. 2024].

[37] Lee (2024).

2.4. 文化的創作のデータ生成への還元

このようなAI主導の文化生態系は、人間の創造性や文化的生産を還元主義的に捉え、芸術作品や創造的表現がデータと同等視される結果をもたらす可能性があります。[38] 文化コンテンツの市場は常に存在してきましたが、人間の創造力や文化的表現をテクノロジー企業が大量に蓄積するという事態は、これまで前例がありませんでした。この「文化のデータ化」[39] は、文化的景観における保護主義的な動態を引き起こす可能性があります。例えば、自分の作品をデータマイニングから守りたいと考えるクリエイターが、自分の作品を公開しない選択をするかもしれません。[40] 一方で、大手テクノロジー企業は、生成モデルをさらに強化するために、ライセンス契約を続けて結ぶ可能性があります。[41] [42] さらに、テック業界の現在の「創作物へのオープンアクセス」という物語は、必要なデータを蓄積し、モデルを十分に訓練した後は、より厳格な知的財産の強制に転換するだろうという主張もなされています。[43]

3. 国際的観点

現在のAIと著作権に関する議論は、米国地方裁判所での訴訟に焦点が当たっており、そのために米国中心となっていますが、より多様な視点が求められています。

3.1. 日本

現在の日本の著作権法では、著作権者の許可なく、データマイニングやAIモデルの訓練に著作権のあるコンテンツを広範に利用することが認められています。この状況により、日本は「機械学習の楽園」と称されています。[44] 生成AIによって著作権者を取り巻く技術的・経済的条件が変化していることに気づいた文化庁（ACA）は、最近、AIと著作権に関する方針をまとめた公式報告書を発表しました。[45]

[38] Coyle, D. and Manley, A. (2022) What is the value of data? A review of empirical methods. Bennett Institute for Public Policy Cambridge. Available at: https://www.bennettinstitute.cam.ac.uk/wp-content/uploads/2022/07/policy-brief_what-is-the-value-of-data.pdf [Accessed 17 May 2024].

[39] Lee (2024).

[40] Pasquale and Sun (2024), pp 19-20.

[41] Financial Times (2024) 'The Financial Times and OpenAI strike content licensing deal', Financial Times, 29 Apr. Available at: <https://www.ft.com/content/33328743-ba3b-470f-a2e3-f41c3a366613> [Accessed 17 May 2024].

[42] SAG-AFTRA (2024) SAG-AFTRA and Replica Studios Introduce Groundbreaking AI Voice Agreement at CES. Available at: <https://www.sagaftra.org/sag-aftra-and-replica-studios-introduce-groundbreaking-ai-voice-agreement-ces> [Accessed 17 Apr. 2024].

[43] Regulation Panel (2023) Balancing Act: AI, Intellectual Property, and Legal Landscapes. Protecting Creativity in the Age of AI. King's College London, 14 Dec., London.

[44] In 2019, new copyright law was legislated, including the new Article 30-4 claiming that: "It is permissible to exploit a work, (...) in any other case in which it is not a person's purpose to personally enjoy or cause another person to enjoy the thoughts or sentiments expressed in that work." Copyright Research and Information Center (n.d.) Copyright Law of Japan. Available at: <https://www.cric.or.jp/english/clj/cl2.html#chapter2sect3> [Accessed 5 Aug. 2024].

[45] ACA (2024) Approach to AI and Copyright: draft. Available at: https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/chosakuken/hoseido/r05_07/pdf/94024201_01.pdf and abbreviated English version: https://www.bunka.go.jp/english/policy/copyright/pdf/94055801_01.pdf [Accessed 5 Aug. 2024].

この報告書の作成にあたって、文化庁はクリエイティブ産業の労働者や代表組織と協議し、AIの影響についての彼らの経験や意見を収集しました。[46] また、生成AIに関するアーティストの懸念を記録するための窓口も設立されました。[47] しかし、このような協議にもかかわらず、文化庁は著作権侵害の問題が十分なレベルに達しておらず、現行の著作権法を改正する必要はないとしています。[48] 最終的に、この報告書は既存のAIと著作権に関する規制を再確認し、データマイニングにおける著作物の使用に関する重要な定義や法的範囲を明確にしました。報告書は、データマイニングは著作権侵害とはみなされるべきではなく、そのような行為は著作権者の同意なく許容されるべきであると主張しています。

3.2. イギリス

イギリス政府のAIと著作権に対するアプローチは、現在変動中です。イギリスを「AI超大国」にするという目標と国内AIの発展を促進するために、[49] 政府は当初、1988年著作権・意匠・特許法（Copyright, Designs and Patents Act 1988）を改正し、「いかなる目的」[50] [51] にもデータマイニングを許可することを計画していましたが、これは商業目的に限らないものでした。[52] しかし、文化部門の代表者や政策立案者、例えば文化・メディア・スポーツ委員会に所属する議員からの反対があり、政府の提案に対する懸念が表明されました。この提案は、データマイニングを著作権保護から除外するという内容でした。[53] 「イノベーションとクリエイターの権利のバランス」を取ることを目指しているため、[54] イギリス政府は規制に慎重な姿勢を示し、技術企業とクリエイティブ産業の組織が自発的な行動規範を主導することを期待しており、それは知的財産庁

[46] ACA (2023) Representative Opinions of Creators and Copyright Holders on the Generative AI. Available at: https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/chosakuken/hoseido/r05_05/pdf/93980701_03.pdf [Accessed 5 Aug. 2024].

[47] Yomiuri Shimbun (2024) 'The ACA started to collect generative AI copyright infringement case', Yomiuri Shimbun, 13 Mar. Available at: <https://www.yomiuri.co.jp/culture/20240312-OYT1T50242/> [Accessed 5 Aug. 2024].

[48] ACA (2024) General Understandings on AI and Copyright in Japan. Available at: https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/chosakuken/bunkakai/69/pdf/94022801_01.pdf [Accessed 5 Aug. 2024].

[49] DSIT (2023) A pro-innovation approach to AI regulation. Available at: <https://www.gov.uk/government/publications/ai-regulation-a-pro-innovation-approach/white-paper> [Accessed 5 Aug. 2024].

[50] IPO (2022) Artificial Intelligence and Intellectual Property: copyright and patents: Government response to consultation. Available at: <https://www.gov.uk/government/consultations/artificial-intelligence-and-ip-copyright-and-patents/outcome/artificial-intelligence-and-intellectual-property-copyright-and-patents-government-response-to-consultation> [Accessed 27 Aug. 2024], para 86.

[51] Smith, J., Thornton, P. and Shaw, A. of Hogan Lovells (2024) 'Government AI and copyright strategy: a change in artistic license?' Practical Law, 29 Feb. Available at: [https://uk.practicallaw.thomsonreuters.com/w-042-4259?transitionType=Default&contextData=\(sc.Default\)&firstPage=true](https://uk.practicallaw.thomsonreuters.com/w-042-4259?transitionType=Default&contextData=(sc.Default)&firstPage=true) [Accessed 4 Jul. 2024].

[52] Ibid.

[53] House of Commons, Culture, Media & Sport Committee (2024) Connected tech: AI and creative technology: Government Response to the Committee's Eleventh Report of Session 2022-23. Available at: <https://committees.parliament.uk/publications/42766/documents/212749/default/> [Accessed 4 Jul. 2024].

[54] UK Music (2023) UK Music Chief Welcomes MPs' Report and Calls for Strong Copyright Protections To Be At Heart Of UK's Approach To Artificial Intelligence. Available at: <https://www.ukmusic.org/news/uk-music-chief-welcomes-mps-report-and-calls-for-strong-copyright-protections-to-be-at-heart-of-uks-approach-to-artificial-intelligence/> [Accessed 4 Jul. 2023].

(IPO) によって促進される予定でした。[55] しかし、話し合いは2024年2月に行き詰まり、行動規範は作成されませんでした。[56] [57] その結果、政府は「AIと権利者の分野との協議を通じて、AIとクリエイティブ部門がパートナーシップで成長できるような実行可能で効果的なアプローチ」を確保するために、AI著作権政策の策定においてより積極的な役割を果たすことを目指しています。[58] 政府が関与するさまざまな協議や相談の進展に応じて、新たな政策が導入される可能性は依然として存在しています。[59] [60]

3.3. シンガポール

シンガポール政府は、デジタルコンテンツの使用とアクセスに関する新たな慣行に対応して、2021年著作権法を制定しました。この法律は、著作権侵害を巡る論争や、個人使用の法的根拠がデータマイニングの実践によって問題視されたことを受けて制定されました。最も重要なのは、この法律が、計算データ分析のために著作権作品を使用することを許可している点です。具体的には、「(a) コンピュータープログラムを使用して、作品または録音から情報やデータを識別、抽出し、分析すること、および(b) その種類の情報やデータに関するコンピュータープログラムの機能を改善するために、作品または録音をその情報やデータの一例として使用すること」が含まれます。[61]この規定により、テクノロジー企業はアクセス可能なデータを使用して生成AIサービスを開発することが可能になります。シンガポール政府がAIのイノベーションを促進し、国産AIの発展を推進する努力は、このアプローチと一致しています。

3.4. オーストラリア

オーストラリアでは、アーティストや文化企業がデータマイニングに関する著作権免除のリスクについて懸念を表明し、より良い規制を求めています。2023年8月、メディア・エンターテインメント・アーツ同盟 (MEAA) は、生成AIの訓練における著作権法の免除

[55] HM Government (2023) HM Government Response to Sir Patrick Vallance's Pro-Innovation Regulation of Technologies Review Digital Technologies. Available at: https://assets.publishing.service.gov.uk/media/6410aa2ce90e076cc6e370ef/HMG_response_to_SPV_Digital_Tech_final.pdf [Accessed 4 Jul. 2024], p 5.

[56] Aplin (2024).

[57] Berry, K. of Linklaters (2024). 'UK fails to agree AI/copyright code of practice', Linklaters Law Blog, 8 Feb. Available at: <https://www.linklaters.com/en/insights/blogs/digilinks/2024/february/uk-fails-to-agree-ai---copyright-code-of-practice> [Accessed 4 Jul. 2024].

[58] DSIT (2024) Consultation Outcome: A pro-innovation approach to AI regulation: government response. UK Government. Available at: <https://www.gov.uk/government/consultations/ai-regulation-a-pro-innovation-approach-policy-proposals/outcome/a-pro-innovation-approach-to-ai-regulation-government-response#a-regulatory-framework-to-keep-pace-with-a-rapidly-advancing-technology> [Accessed 4 Jul. 2024], Para 30.

[59] Berry (2024).

[60] Smith, Thornton and Shaw (2024).

[61] Infinity Legal LLC. (2023) Copyright Law: A Balancing Act: Singapore's Computational Data Analysis Exception. Available at: <https://infinitylegal.com.sg/wp-content/uploads/2024/01/FINAL-PDF-CDA-Exception-Article.pdf> [Accessed 5 Aug. 2024], p 2.

を停止するよう政府に要請しました。[62] また、オーストラリア出版協会（APA）も同様の停止を求め、出版者の権利を保護するよう要請する声明を公表しました。[63] オーストラリア作家組合（AWG）もこれらの懸念に加わり、十分に規制されていないAIに反対しました。[64] オーストラリア政府は、2023年に開催された大臣級円卓会議を通じて、AIと著作権に関する懸念に直接対処し始めました。[65] この円卓会議の結果、著作権とAIに関する参考グループ（CAIRG）が法務総省内に設立され、関係者との協議を通じてAIの著作権に関する影響を検討する役割を担っています。[66]最近、オーストラリア政府は政策提案を公表し、AIに対する強制的なガードレールのビジョンを示しました。[67] 特に注目すべきは、ガードレール3で、著作権とAIに対処し、データの透明性の義務と「データが合法的に取得されていること」を求めています。[68] この提案では、CAIRGがこの提案された強制ガードレールと著作権法の交差点を検討することにも言及しています。オーストラリアの著作権分野では勢いが増しており、CAIRGおよび政府が協議の後にどのような結果をもたらすかは、今後の動向次第です。

3.5. カナダ

カナダは、AIの導入によって引き起こされた著作権に関する懸念に対して、より積極的な対応を取っています。政府は、アーティストや文化従事者の権利を保護するための一連の措置を実施しており、特に芸術作品の無条件なAIデータマイニングの停止が注目されています。[69] 公衆の意見に基づいた政策アプローチを目指し、クリエイティブ従事者の意見を収集するための諮問委員会も設立されました。このような手法は、文化労働者の声がAIと著作権の議論に積極的に反映される政策の動態を示唆しています。そのため、この公衆に基づいたクリエイター中心の取り組みの結果と影響は、政策立案者、クリエイティブ従事者、そしてテック業界の関心を集めることになるでしょう。

[62] IFJ (2023) Australia: Media union outlines dangers of AI on creative industry. Available at: <https://www.ifj.org/media-centre/news/detail/category/press-releases/article/australia-media-union-outlines-dangers-of-ai-on-creative-industry>. [Accessed 4 Jul. 2024].

[63] APA (2023) Artificial intelligence and publishing. Available at: <https://publishers.asn.au/Web/Our-Work/Advocacy-Policy/Artificial-Intelligence-and-publishing.aspx?hkey=0a381ff9-4e92-4b54-bfc8-78e396e0f3f1> [Accessed 4 Jul. 2024].

[64] AWG (2023) Artificial intelligence in performance and interactive writing. Available at: <https://awg.com.au/Media/Industrial/AWG%20AI%20Position%20Paper%20September23.pdf> [Accessed 5 Aug. 2024].

[65] AGD (2023) Ministerial Roundtable on Copyright. Australian Government. Available at: <https://www.ag.gov.au/rights-and-protections/copyright/ministerial-roundtable-copyright> [Accessed 5 Sep. 2024].

[66] AGD (2023) Copyright and AI Reference Group. Australian Government. Available at: <https://www.ag.gov.au/rights-and-protections/copyright/copyright-and-artificial-intelligence-reference-group-cairg> [Accessed 5 Sep. 2024].

[67] DISR (2024) Safe and Responsible AI in Australia. Australian Government. Available at: https://storage.googleapis.com/converlens-au-industry/industry/p/prj2f6f02ebfe6a8190c7bdc/page/proposals_paper_for_introducing_mandatory_guardrails_for_ai_in_high_risk_settings.pdf [Accessed 5 Sep. 2024].

[68] Ibid, p 37.

[69] ISED (2023) Consultation on copyright in the age of generative artificial intelligence. Government of Canada. Available at: <https://ised-isde.canada.ca/site/strategic-policy-sector/en/marketplace-framework-policy/consultation-paper-consultation-copyright-age-generative-artificial-intelligence> [Accessed 4 Jul. 2024].

4. AIと著作権の調停

AIと著作権の間での倫理的な調整は、文化的生産者の適切な保護と、生成AIの健全で公平な発展を確保するために不可欠です。そのため、政策立案者は「クリエイターが自分の作品がAI開発者によって使用される際に、適切なメカニズムで同意を強制し、公正な報酬を受け取れるような道筋を確保する」必要があります。[70]したがって、我々は以下を提案します。

4.1. 4つのC：同意(consent)、制御(control)、記載(credit)、補填(compensation)

新しい生成AIの生態系は、文化部門と技術部門の双方の未来を切り開くために必要とされています。私たちは、そのような生態系を「4つのC」（同意、制御、記載、補償）として特徴づけました。

- アーティストや著作権者は、AIのデータマイニングにおける自身の作品やパフォーマンスの使用に対して、より多くのコントロールを持つべきです。[71] [72] [73] これには、「オプトイン」または「オプトアウト」の仕組みを導入し、AI開発者が同意契約を尊重し、作品に対するアーティストの監督を実施することが含まれます。同時に、クリエイティブ・コモンズが提案する「選好シグナル」の使用についても考慮に値します。これは、クリエイターが自分の作品をどのように使用されたいか、AIデータマイニングを含む希望をクリエイティブ・コモンズのライセンスに明示するというものです。[74]
- これに関連して、AIモデルにおける効果的なフィルタリングは、芸術的なコントロールの回復と、文化部門と技術部門の間の信頼を回復する助けとなるでしょう。[75] この目的のために、a)モデルの訓練時に著作権で保護された、同意のない作品をフィルタリング、b)アーティストが定義した創作物の許容される使用に違反する可能性のあるテキストプロンプトや生成出力をフィルタリングすることを提案します。[76]

[70] UK House of Commons: Culture, Media & Sport Committee (2024) Creator remuneration: Fifth report of sessions 2023-24. HC 156, UK Parliament. Available at: <https://committees.parliament.uk/publications/44143/documents/219382/default/> [Accessed 22 May 2024], p 20.

[71] Replica Studios (2024) The New Contract Between SAG AFTRA and Replica. Available at: <https://www.replicastudios.com/blog/how-it-works---contract-between-sag-aftra-and-replica-studios> [Accessed 23 May 2024].

[72] “The control part is as important as the compensation.” Rasenberger, quoted in The Hollywood Reporter (2024) ‘Authors Guild Exploring Blanket License For Artificial Intelligence Companies’, The Hollywood Reporter, 11 Jan. Available at: <https://www.hollywoodreporter.com/business/business-news/authors-guild-exploring-blanket-license-artificial-intelligence-companies-1235785941/> [Accessed 23 May 2024].

[73] “Creative control is pivotal, reflecting the need to preserve the essence of human-driven creativity from mechanistic outputs.” Lim, D. (2023), Generative AI and copyright: principles, priorities and practicalities, Journal of Intellectual Property Law & Practice, Volume 18, Issue 12, December 2023, Pages 841–842. Available at: <https://academic.oup.com/jiplp/article/18/12/841/7331468?login=false> [Accessed 7 Aug. 2024].p 841.

[74] Tumadóttir, A. (2024) ‘Questions for Consideration on AI and the Commons’, Creative Commons, 24 Jul. Available at: <https://creativecommons.org/2024/07/24/preferencesignals/> [Accessed 5 Sep. 2024].

[75] Henderson et al. (2023).

[76] “output filtering techniques will need to go beyond simple surface-level matching... a more fair-use-aligned output filtering approach would focus on detecting transformations unlikely to be fair use, such as direct translations and abridgements or depictions of copyrightable characters associated with unique text descriptions (Sag, 2018). It would ideally also take into account situations where reproduction of content is permitted, including parodies, or factual content.” Ibid, p 28.

- さらに、生成AIにおいて、特にオリジナル作品に関して、より良い透明性が必要とされています。AI開発者がモデルの訓練に使用したデータを公開するデータ透明性の義務は、規制の推進力として機能するかもしれません。[77] その結果、テクノロジー企業は、アーティストの同意を積極的に求め、文化部門と抽出型ではなく協力的な関係を追求する可能性が高まります。
- 生成AIはイノベーションの大きな一歩ですが、この技術は依然として社会的および文化的な規範、特にアーティストにクレジットを与えることに関して、[78] より調整が必要です。そのため、私たちはAI分野における実行可能な帰属メカニズムの開発を進める提案を支持します。[79] 帰属とは、モデルが出力をその元データに帰属させ、出典情報を提供できる能力を意味します。[80] この進展により、生成出力の背後にいるアーティストにクレジットを与えることができ、最終的にはAIのダイナミクスの中で人間の創造性を再び中心に置くことが可能となるでしょう。[81]
- 最後に、帰属に関連して、AIデータマイニングに使用された作品の著作権者やアーティストに公正な補償を促進するための技術的メカニズムを進展させる必要があります。補償への道筋としてライセンス契約（4.2を参照）が一つの方法ですが、帰属に関するさらなる研究開発によって、将来的にはロイヤルティの形で補償が行われ、テクノロジー部門と文化部門の間でより相互に利益をもたらすパートナーシップが促進される可能性があります。[82]

4.2. ライセンス合意とその先

データの量と質が高い価値を持ち、裁判の判決が差し迫る中、コンテンツ所有者とAI企業はライセンス契約を結ぼうとしており、これが著作権和解のさらなる道筋を提供する可能性があります。[83] 私たちがレビューしたこうした契約（付録2参照）によると、「4つのC」（同意、制御、記載、補償）と一致する契約は、ライセンスを通じて著作権の和解を図るための最も実行可能なロードマップを提供しています。ライセンス契約は文化のデータ化を助長し、企業の権力動態に絡んでいるかもしれませんが、同意とコン

[77] The EU Artificial Intelligence Act. European Parliament. Available at: <https://artificialintelligenceact.eu/the-act/> [Accessed 1 May 2024].

[78] Schick, N. and Mosque, E. (2023) Emad Mostaque: Generative AI as infrastructure for humanity | PIONEERS #1. Available at: <https://www.youtube.com/watch?v=aNYPCQBqnTY> [Accessed 28 Jun. 2023].

[79] “Instance attribution refers to methods that assign attribution scores to training examples to understand the contribution of individual examples (or group of examples) to (test-time) model predictions (Koh and Liang, 2017; Ghorbani and Zou, 2019; Jia et al., 2019; Pezeshkpour et al., 2021; Ilyas et al., 2022)... One application of instance attribution is in determining the source of a generated output... [it] can also address the credit assignment problem by providing a clear attribution page that lists all works which contributed to the output, along with licensing information, to comply with creative commons license attribution guidelines.” cited by Henderson et al. (2023), p 29, their emphasis.

[80] Henderson et al. (2023).

[81] Pasquale and Sun (2024).

[82] Ibid.

[83] Gilbert, A. (2024) ‘Google-Reddit AI Deal Heralds New Era in Social Media Licensing’, Bloomberg Law, 7 Mar. Available at: <https://news.bloomberglaw.com/ip-law/google-reddit-ai-deal-just-the-start-for-social-media-licensing> [Accessed 23 May 2024].

トロールに内在する主体性や創造的監督は、クレジットと補償と組み合わせることで、人間の文化的労働に伴う創造的不安定性のいくつかの要素に対処する手助けとなるかもしれません。[84]

したがって、ライセンス契約における権力のスペクトルを考慮する必要があります。小規模なAI企業は、有意義な取引を結ぶために必要な資金を確保する必要があります。個々のアーティストは、特に意味のある組合の代表がない場合、集団交渉力を欠いています。一方で、より大きな文化的企業、確立された機関、著名なアーティストは、より公正な補償を交渉し、創造的コントロールを発揮する立場にあります。このため、法廷や企業単位のライセンス契約を超えた、文化部門と技術部門のより洗練された協力関係が求められます。この目的のために、クリエイティブを代表し、彼らの公平な報酬とロイヤルティの収集を保証するための業界団体を設立し、大規模および小規模なAI企業と協力することが、すべての関係者にとってより公平な競争の場を確保するために必要かもしれません。

4.3. オープンアクセス文化への批判的関与

激しい著作権論争や増加するライセンス契約の中で、私たちはインターネットの基本原則であるオープンアクセスと、文化的コモンズへの貢献と共有の豊かな歴史を見失ってはなりません。[85] [86] したがって、公共財を強化し、個人、非商業的、研究目的での著作物の公正利用を促進すると同時に、アーティストや著作権者の権利を、商業目的や排他的なアクセスのための独占的なデータマイニングから守ることを目指すべきです。

4.4. より広範なエコシステム

最後に、生成AIと知的財産が存在するより広範なエコシステムを考慮する必要があります。[87] 観察すべき点として、生成AIに関連する強固なプライバシー権や人格権がどのような影響や価値を持つか、またそれらの潜在的な法的メカニズムが知的財産保護とどのように相互作用し、強化されるかについての研究が含まれます。

[84] Pasquale and Sun (2024).

[85] Vézina, B. and Benedict, C. (2024) Don't Be a Dinosaur; or, the Benefits of Open Culture. Creative Commons. Available at: <https://creativecommons.org/wp-content/uploads/2024/04/Dont-Be-a-Dinosaur-or-The-Benefits-of-Open-Culture.pdf> [Accessed 5 Jul. 2024].

[86] Vézina, B., Benedict, C. and Miyara, J. (2024) Recap & Recording: 'Open Culture in the Age of AI: Concerns, Hopes and Opportunities', Creative Commons, 5 Jun. Available at: <https://creativecommons.org/2024/06/05/recap-recording-open-culture-in-the-age-of-ai-concerns-hopes-and-opportunities/> [Accessed 4 Jul. 2024].

[87] Pasquale and Sun (2024).

このエコシステムには、業界団体や独立機関が提供するアーティストやクリエイター向けのAIツールキットの導入など、積極的な措置も含まれるかもしれません。[88] AIツールキットは、新しいオリジナル作品を保護するためのデータマイニング防止ソフトウェアやモデル不安定化ソフトウェアへのアクセスを提供するだけでなく、法的ガイダンス、機械学習トレーニング、創造性に関するスキルアップなども提供できるでしょう。[89] [90] [91] このようなツールキットは、アーティスト自身が独自の生成AIモデルを作成することを支援する、より大規模な国家的な機械学習プログラムの一部として位置付けられるかもしれません。このようなプログラムは、創造的アイデンティティと表現に対するコントロールをアーティストに戻すのに役立ち、同時にAI分野における米国のテック企業の支配に対処する一助となるでしょう。[92] [93] [94]

[88] It should be noted that US Copyright Office (USCO) has recently published the first in a series of AI reports, in which they support the introduction of a new federal law to protect all citizens from unauthorized digital replicas. “We recommend that Congress establish a federal right that protects all individuals during their lifetimes from the knowing distribution of unauthorized digital replicas. The right should be licensable, subject to guardrails, but not assignable, with effective remedies including monetary damages and injunctive relief.” USCO (2024) Copyright and Artificial Intelligence, Part 1: Digital Replicas. Available at: <https://www.copyright.gov/ai/Copyright-and-Artificial-Intelligence-Part-1-Digital-Replicas-Report.pdf> [Accessed 9 Aug. 2024], p 57.

[89] Two US Senators recently proposed the “Small Business Artificial Intelligence Training and Toolkit Act of 2024 that would authorize the U.S. Department of Commerce (DOC) to work with the Small Business Administration (SBA) to create and distribute artificial intelligence (AI) training resources and tools to help small businesses leverage AI in their operations.” An artistically aligned toolkit offered to creative practitioners could help protect and propel the UK’s cultural and creative industries: US Senate Committee on Commerce, Science, & Transportation (2024) Cantwell, Moran Introduce Bill to Help Small Business Leverage AI Tools. Available at: <https://www.commerce.senate.gov/2024/6/cantwell-moran-introduce-bill-to-help-small-business-leverage-ai-tools> [Accessed 19 Jun. 2024].

[90] MIT Technology Review (2023) ‘This new data poisoning tool lets artists fight back against generative AI’, MIT Technology Review, 23 Oct. Available at: <https://www.technologyreview.com/2023/10/23/1082189/data-poisoning-artists-fight-generative-ai/> [Accessed 19 Jun. 2024].

[91] The Glaze Project (2022) Our Mission and Vision. Available at: <https://nightshade.cs.uchicago.edu/aboutus.html> [Accessed 29 Apr. 2024].

[92] Emad Mostaque, former CEO of Stability AI, proposes a national AI framework for each country that is home-developed to represent the local culture and values of different peoples and counteract the power and cultural monopoly of predominantly Western ‘big tech’ firms: Schick and Mostaque (2023).

[93] Frinny Lee, musician and CEO of AV Mapping, proposed the idea of personal machine learning models so that individuals could have ownership and agency over their creative and personal expression: Lee, F. (2023) conversation with Josepha Bertolini, present at Protecting Creativity in the Age of AI. King’s College London, 14 Dec., London.

[94] Ploin et al. (2022) discuss the building process and use of proprietary models by artists in creative practice. Ploin, A., Eynon, R., Hjorth, I. and Osborne, M. (2022) How Machine Learning Is Changing Artistic Work AI and the Arts. Oxford Internet Institute. Available at: https://www.oii.ox.ac.uk/wp-content/uploads/2022/03/040222-AI-and-the-Arts_FINAL.pdf [Accessed 24 Apr. 2024] pp 23-29.

5. 付録

付録 1: 生成AI関連の訴訟事例

原告	原告	モデル	主張	管轄
Getty Images	Stability AI	Stable Diffusion	著作権侵害、商標侵害および希釈、不正競争など [95] 「Stability AIは、Getty Imagesの知的財産を驚異的な規模で公然と侵害している」 [96]	アメリカ、イギリス
アーティスト10名 (集団所掌)	Stability AI, Midjourney, Runway & DeviantArt	Stable Diffusion, Midjourney, Runway	直接および代理著作権侵害、デジタルミレニアム著作権法 (DMCA) 違反、ランサム法違反など[97] 「被告はAI画像製品へのアクセスを販売していると主張していますが、実際には著作権侵害をサービスとして提供しています。この不正利用の規模は驚異的で前例がなく、データセットの収集とコピー、モデルの訓練と展開、出力画像の各段階で法の違反が行われています。」 [98]	アメリカ
アメリカ作家協会 (集団訴訟)	OpenAI	ChatGPT	直接、代理、および共謀による著作権侵害 [99] 「原告の登録されたフィクション作品の著作権に対する明白かつ有害な侵害」 [100]	アメリカ
ユニバーサル・ミュージック・グループ (UMG)	Suno Inc.	Suno	1972年以降の著作権で保護された録音物に対する直接著作権侵害、1972年以前の著作権で保護された録音物に対する直接著作権侵害 [101] 「Sunoの製品が、著作権で保護された録音物の特定できる特徴を模倣したデジタル音楽ファイルを生成する事実は、SunoがAIモデルの訓練に著作権で保護された録音物を使用していることを示しています。明確にしておく、原告は現時点ではこれらの出力自体が著作権で保護された録音物を侵害していると主張しているわけではありません。ただし、発見により、それらが直接的または間接的に著作権で保護された録音物の一部を再現していることが明らかになった場合は別です。」 [102]	アメリカ
ユニバーサル・ミュージック・グループ (UMG) Concord Music Group、Capital CMG、ユニバーサル・ミュージック (およびその子会社)	Anthropic	Claude	直接、代理、および共謀による著作権侵害、著作権管理情報の削除または変更 [103] 「著作権で保護された歌詞の体系的かつ広範な侵害」 [104]	アメリカ
ニューヨーク・タイムズ	OpenAI およびマイクロソフト	ChatGPT	著作権侵害、代理および共謀による著作権侵害、著作権管理情報の変更、不正競争による不正流用 (DMCA)、商標希釈 [105] 「被告の違法なタイムズの作品使用は、人工知能製品を作成し、タイムズが提供するサービスを脅かしている」 [106]	アメリカ

[95] Getty Images Inc (USA) vs Stability AI, Inc (2023) Case 1:99-mc-09999. Available at: <https://aboutblaw.com/6DW> [Accessed 16 May. 2024], pp 23-34.

[96] Ibid, p 1.

[97] Andersen, McKernan, Ortiz, Southworth, Rutkowski, Manchess, Brom, Zhang, Kaye, and Ellis, vs Stability AI, Midjourney, Runway & DeviantArt (2023) Case 3:23-cv-00201-WHO. Available at: <https://fingfx.thomsonreuters.com/gfx/legaldocs/znpnzrgypl/AI%20COPYRIGHT%20LAWSUIT%20amended.pdf> [Accessed 16 May 2024], pp 8-10.

[98] Ibid, p 3.

[99] Authors Guilds vs Open AI (2023) Case 1:23-cv-08292 Available at: <https://fingfx.thomsonreuters.com/gfx/legaldocs/xmvjlbqbnvr/AUTHORS%20GUILD%20OPENAI%20LAWSUIT.pdf> [Accessed 16 May 2024], pp 44-46.

[100] Ibid, p 2.

[101] Universal Music Group vs Suno (2024) Case 1:24-cv-11611. Available at: <https://storage.courtlistener.com/recap/gov.uscourts.mad.272063/gov.uscourts.mad.272063.1.0.pdf> [Accessed 7 Aug. 2024], pp 29-31

[102] Ibid, p 15.

[103] Concord Music Group vs Anthropic (2023) Case 3:23-cv-01092. Available at: <https://regmedia.co.uk/2023/10/20/anthropic-lyrics-complaint.pdf> [Accessed 16 May 2024], pp 49-57.

[104] Ibid, p 3.

[105] New York Times vs Microsoft & Open AI (2023) Case 1:23-cv-1119. Available at: https://nytimes-assets.nytimes.com/2023/12/NYT_Complaint_Dec2023.pdf [Accessed 16 May 2024], pp 60-67.

[106] Ibid, p 2.

付録 2. 生成AIのライセンス合意事例

コンテンツ所有者	テック企業	年度	合意条件
アメリカ作家協会 (Authors Guild of America)	N/A	2024	AGAIは「包括的ライセンス契約」を検討している <ul style="list-style-type: none"> 「制御は補償と同程度に重要」 [107] 「作品の取り込みに対する料金と、コンテンツに言及する出力に対する料金」 プラットフォームが「ライセンス料を配分する」 「プロジェクトを監督するための新しい組織と共に委員会が設置される」 チャットボットに「作家のスタイルで」作品を生成させること、他の作品のキャラクターを使用すること、本の要約を作成することに制限をかける可能性 [108]
Reddit	グーグル	2024	合意済み： <ul style="list-style-type: none"> 年間6000万ドル Redditの豊富なユーザー生成コンテンツへのアクセス [109]
アクセル・シュプリ ンガーSE (Politico, Business Insider, Bild, Welt)	OpenAI	2023	以下のように報じられている： <ul style="list-style-type: none"> 「メディア大手のニュース記事やコンテンツを使用してAIシステムを構築する権利のために数千万ユーロに相当する、3年間の契約の一部」 [110] Axel Springerブランドの記事の要約と引用、および記事全体へのアクセスを含む [111]
SAG-AFTRA	Replica Studios	2024	合意済み： <ul style="list-style-type: none"> 「同意、補償、コントロール...同意なしに永続的に声が使用されることを拒否する能力と、新しい作品で声の使用をオプトアウトする能力」 声優データのプライバシーと知的財産権を保護する「許可された使用のみ」 「Replicaのプラットフォームでデータ削除を依頼し、それを遵守する」 「プロジェクト終了後の報告と透明性」「声がどのように承認されたプロジェクトで使用されたか」示すこと 「制作ごとに1行ごとの報酬」 [112]
Shutterstock	複数: Apple, OpenAI, Google Meta, など	2023-24	合意済み： <ul style="list-style-type: none"> 企業ごとに2000万～5000万ドルの範囲で報告されており、トレーニング目的で数百万の画像にアクセスを提供 [113] OpenAIの場合、契約には6年間の延長が含まれ、画像だけでなく、動画、音楽、メタデータにもアクセスできる [114] [115]

[107] Rasenberger, quoted in The Hollywood Reporter (2024) 'Authors Guild Exploring Blanket License For Artificial Intelligence Companies', The Hollywood Reporter, 11 Jan. Available at: <https://www.hollywoodreporter.com/business/business-news/authors-guild-exploring-blanket-license-artificial-intelligence-companies-1235785941/> [Accessed 23 May 2024].

[108] Ibid.

[109] Gilbert (2024).

[110] Cullen, A. and Davalos, J. (2023) 'OpenAI to Pay Axel Springer Tens of Millions to Use News Content', Bloomberg Law, 13 Dec. Available at: <https://news.bloomberglaw.com/tech-and-telecom-law/openai-to-pay-axel-springer-tens-of-millions-to-use-news-content> [Accessed 23 May 2024].

[111] Reuters (2023) 'Global news publisher Axel Springer partners with OpenAI in landmark deal', Reuters, 13 Dec. Available at: <https://www.reuters.com/business/media-telecom/global-news-publisher-axel-springer-partners-with-openai-landmark-deal-2023-12-13/> [Accessed 23 May 2024].

[112] Replica Studios (2024) The New Contract Between SAG AFTRA and Replica. Available at: <https://www.replicastudios.com/blog/how-it-works---contract-between-sag-aftra-and-replica-studios> [Accessed 23 May 2024].

[113] Nuñez, M. (2024) 'Apple's \$25-50 million Shutterstock deal highlights fierce competition for AI training data', VentureBeat, 8 Apr. Available at: <https://venturebeat.com/ai/apples-25-50-million-shutterstock-deal-highlights-fierce-competition-for-ai-training-data/> [Accessed 23 May 2024].

[114] Roth, E. (2023) 'OpenAI's DALL-E will train on Shutterstock's library for six more years', The Verge, 11 Jul. Available at: <https://www.theverge.com/2023/7/11/23791528/openai-shutterstock-images-partnership> [Accessed 23 May 2024].

[115] Shutterstock Inc (2023) Shutterstock Expands Partnership with OpenAI, Signs New Six-Year Agreement to Provide High-Quality Training Data | Shutterstock, Inc. Available at: <https://investor.shutterstock.com/news-releases/news-release-details/shutterstock-expands-partnership-openai-signs-new-six-year> [Accessed 23 May 2024].

本報告書およびプロジェクトに関する質問・
詳細についての問い合わせは以下にご連絡ください。

連絡先:

Prof Hye-Kyung Lee

hk.lee@kcl.ac.uk

Dr Takao Terui

Takao.Terui@xjtlu.edu.cn

Josepha Bertolini

josepha.bertolini@kcl.ac.uk

Prof Nobuko Kawashima

nkawashi@mail.doshisha.ac.jp

ウェブサイト:

www.sustainableculturalfutures.weebly.com

